

2015年度事業報告書

2015年7月1日から 2016年6月30日まで

特定非営利活動法人 Hope and Faith International

1 事業の成果

就学援助事業においては、フィリピン・セブ島都市部（マングラウェ）、山間部（カンビノコット）、ネパール首都カトマンズ、山岳部ソルクンプでの支援活動を実施した。国内では被災地の高校生への奨学金給付事業を継続、2015年度新規に3名に対して給付を開始した。3月には奨学生の内6名が高校三年間の過程を終えて卒業、2016年4月から新規応募者8名全員内定した。年度末現在の対象奨学生は、13名である。

2015年6月、(財)日本住宅協会より国際居住年記念賞を贈られた。ARIでの農業研修をおえたビム氏の農業開発を開始する。フィリピンではCHFISCの活動の充実を図るために事務用品としてパソコンなどの設備を整え、支援者に2か月に1度活動報告を送れるようになった。広報活動として国際チャリティーフェスなどのイベントを実施した。新たに団体のパンフレット、HPを全面リニューアルし支援者拡大に努めた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
就学援助 (フィリピン)	現地NGO三団体と連携して教育支援プログラムを実施	通年	フィリピン (セブ島、マングラウェ、カンビノコット)	4名	子ども40名およびその家族	1,405
就学援助 (ネパール)	現地NGO二団体と連携して教育支援プログラムを実施	通年	ネパール(カトマンズ、ソルクンプ)	4名	子ども37名およびその家族	522
就学援助 (国内被災地)	被災地高校生への奨学金給付	通年	宮城県気仙沼市、大船渡市、他、	4名	13名	2,460
啓発活動	機関紙を3回発行、メルマガ3回発行、WEBサイトを利用して、支援を必要とする地域の現状などを知らせる活動を行った。	8.11.6月、メルマガは、5.6.7月	事務所	3名	ニュースレター送付先300程度、WEBは不特定多数3000	70
その他	台湾地震緊急支援	3月	台湾	4名	台湾地震被災地の人々	60
	ネパール農業開発	通年	地元の人々の意見を取り入れ農業開発を進める。	4名	ソルクンプ郡サレリ村4000世帯	3,791
	フィリピンセンター事業開発	通年	地元の人々のニーズに対応して学習支援センターを作り進める。	4名	カンビノコット村1,000世帯	217

(2) その他の事業 なし